

このプログラムは段やページをまたいで流れる角が丸い枠囲みのスタイルです。プログラムの大半を吉永徹美氏が作成し、それを安田亨と岡本寛が改変したものです。改変作業は安田が行い、一部を岡本が行いました。専用の type1 フォントを使用していますので使用には ceo.sty が必要です。角丸枠線 (Mwaku) は実線と灰色の網掛け枠 (Mgwaku) の 2 種類です。Mgwaku を使う場合、

```
\usepackage[dvips]{graphicx, color}
```

が必要です。

角丸枠線の太さの種類は 1, 2, 3, 4 の 4 段階、四隅の円弧の半径は 1~20 の整数値の 20 段階です。太さ=m, 半径=n にしたいときは (m, n) と入れます。m=1, 2, 3, 4 以外の数値を入れるとエラーになります。n も 1~20 の整数値以外を入れるとエラーになります。この 80 通りの組み合わせに対し、四隅で合計 320 個の弧の記号を作り、どの組み合わせのときにどの記号を呼び出すかを namemacro に記入しています。

デフォルトは太さ=1 (一番細い, 線幅 0.4pt), 半径=6 で、それでよければ (1, 6) を入力する必要はありません。

タイトルをつけたい場合はカギ括弧で囲んでつけます。さらにタイトルを左から k ポイントの位置から始めたい場合は <l>(k), 右から k ポイントの位置から始めたい場合は <r>(k), 中央に揃えたいときは <c> とします。デフォルトは左から 30 ポイント (3 文字分) あけて始まります。それでよければ入力する必要はありません。タイトルは常識的なものを入れる範囲では枠内の本文とは一定の間隔を持ちますが、あまり上下に大きなものを入れると本文と重なります。その場合は \vspace{ } で適当にあけてください。以下、実例を示します。

【入力】

```
\begin{Mwaku}
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横23字です。タイトルなしの実線枠です。半径もすべてデフォルトの場合はこのようにします。
```

```
\end{Mwaku}
```

と入力すると

【コンパイル結果】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です。タイトルなしの実線枠です。半径もすべてデフォルトの場合はこのようにします。

となります。

【入力】

```
\begin{Mwaku}(4, 1)[\dfrac{a}{b}]
```

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

横23字です。タイトルありの実線もっとも太い枠、弧の半径は1です。位置の記述がない場合は左から3文字あけ、4文字目から始めます。

```
\end{Mwaku}
```

と入力すると

【コンパイル結果】

$$\frac{a}{b}$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です。タイトルありの実線もっとも太い枠、弧の半径は 1 です。位置の記述がない場合は左から 3 文字あけ、4 文字目から始めます。

となります。

【入力】

```
\begin{Mwaku}(4, 8)[\dfrac{a}{b}]<c>
```

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

横23字です。タイトルありの実線もっとも太い枠、弧の半径は8です。タイトルは<c>で中央配置です。

```
\end{Mwaku}
```

と入力すると

$$\frac{a}{b}$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です。タイトルありの実線もっとも太い枠、弧の半径は 8 です。タイトルは <c> で中央配置です。

となります。

【入力】

```
\begin{Mwaku}(2, 8)[\text{問題}]<r>(20)
```

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

横23字です。タイトルありの実線細いほうから2番目の枠 (0.8ポイント), 弧の半径は8です。タイトルは<r>で右寄せ, (20)なので、タイトル右端は右から2文字離れたところまであります。

```
\end{Mwaku}
```

と入力すると

【コンパイル結果】

問題
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です。タイトルありの実線細いほうから 2 番目の枠 (0.8 ポイント), 弧の半径は 8 です。タイト

ルは< r >で右寄せ,(20)なので,タイトル右端は
右から2文字離れたところまであります.

となります.

【入力】

```
¥begin{Mwaku}(3, 8)[¥fbox{¥textgt{問題}}}  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3  
横23字です. タイトルありの実線細いほうから3番目  
の枠(1.2ポイント), 弧の半径は8です. タイトル  
をボックス(fbox)で囲ってみました.
```

```
¥end{Mwaku}
```

と入力すると

【コンパイル結果】

問題

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です. タイトルありの実線細いほうから 3 番
目の枠 (1.2 ポイント), 弧の半径は 8 です. タイト
ルをボックス (fbox) で囲ってみました.

となります.

$$\frac{\frac{a}{b}}{\frac{a}{b}}$$

見出しが大きくてもそこそこ対応できますが, あま

り大きくしないでください. 大きすぎるのは悪趣味
です.

以上の Mwaku を Mgwaku にすれば枠に網掛けをした
状態になります. 最近, 組版機の世界では流行気味で
す. ただし, この場合はあまり細い枠に網掛けをすると
かすれてしまうので, 太枠だけにかけるのが適当でしょ
う. もちろん, 細枠に網掛けすることもできます.

【入力】

```
¥begin{Mgwaku}(4, 8)[¥dfrac{a}{b}]<c>  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3  
横23字です. タイトルありの網掛けももっとも太い枠,  
弧の半径は8です. タイトルは<c>で中央配置です.  
¥end{Mgwaku}
```

と入力すると

$$\frac{a}{b}$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
横 23 字です. タイトルありの網掛けももっとも太い
枠, 弧の半径は 8 です. タイトルは <c> で中央配置
です.

となります.